

ダイワ／ジャナス米国中型 グロース株ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第14期

(決算日 2024年10月18日)

(作成対象期間 2024年4月19日～2024年10月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の中型株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2750>
<2751>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2017年10月19日～2027年10月18日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録(上場予定および店頭登録予定を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)および不動産投資信託証券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株式組入比率	株式先物比率	投資証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
10期末(2022年10月18日)	10,409	0	△ 16.1	15,280	△ 15.8	95.7	—	1.7	767
11期末(2023年4月18日)	11,493	40	10.8	17,354	13.6	95.0	—	2.0	692
12期末(2023年10月18日)	10,843	200	△ 3.9	18,383	5.9	95.4	—	1.6	528
13期末(2024年4月18日)	11,603	100	7.9	21,224	15.5	91.9	—	1.3	514
14期末(2024年10月18日)	11,910	850	10.0	24,806	16.9	95.0	—	1.7	442

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

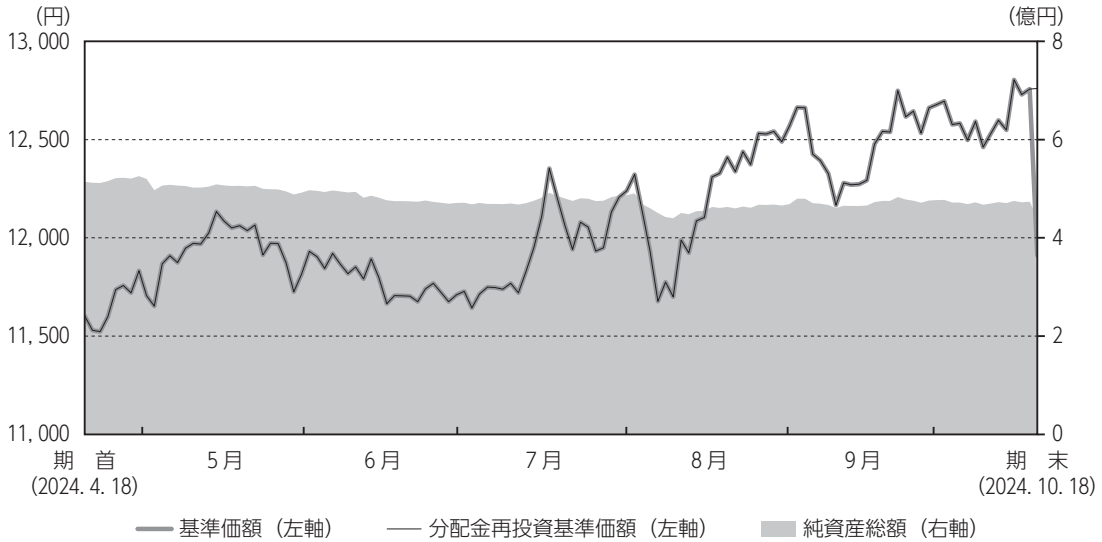
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド (為替ヘッジあり) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,603円

期末：11,910円（分配金850円）

騰落率：10.0%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

米国中型株式市況が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2024年 4月18日	11,603	—	21,224	—	91.9	—	1.3
4月末	11,832	2.0	21,624	1.9	95.0	—	1.4
5月末	11,814	1.8	22,151	4.4	92.8	—	1.4
6月末	11,710	0.9	23,216	9.4	93.8	—	1.5
7月末	12,239	5.5	23,034	8.5	93.6	—	1.7
8月末	12,569	8.3	23,715	11.7	94.1	—	1.7
9月末	12,678	9.3	24,355	14.8	94.0	—	1.8
(期末)2024年10月18日	12,760	10.0	24,806	16.9	95.0	—	1.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 4. 19 ～ 2024. 10. 18）

米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、当作成期首より、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が高まったことなどから、底堅く推移しました。しかし2024年7月中旬以降は、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆するF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感し、株価は急反発しました。9月中旬にF R Bが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、米国中型株式市場は上昇して当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行います。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

健全な労働市場や底堅い個人消費などを背景に、米国経済が堅調さを維持していることや、インフレ圧力の緩和に伴い、利下げの可能性が高まっていることは、米国中型株式市場にとってプラス材料であるとみています。一方で、最近の株高は、力強い経済成長やインフレ圧力の後退、金利の低下など株式市場にとって好ましいシナリオが続くことへの期待感に支えられていることから、インフレ率上昇など想定外のイベントが発生した場合には市場に失望感が広がり、株価の下落幅が大きくなるリスクがあると考えます。

このような理由から、当戦略は引き続き、こうしたリスクを意識したポジションを維持し、バリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しています。銘柄選択にあたっては、良好なバランスシート、持続性のある競争力、安定した収益見通しが期待できる銘柄の発掘に注力していくとともに、まだ市場で十分に認知されていない、長期的な成長テーマに注目しています。例えば、当戦略では最近、電力会社の組入比率を引き上げました。A I（人工知能）や電気自動車の普及により電力需要が増加していることに加え、送電網の信頼性向上やクリーン・エネルギーへの転換のための電力インフラ（社会基盤）投資が加速していくと予想しています。

ポートフォリオについて

（2024. 4. 19 ～ 2024. 10. 18）

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行いました。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

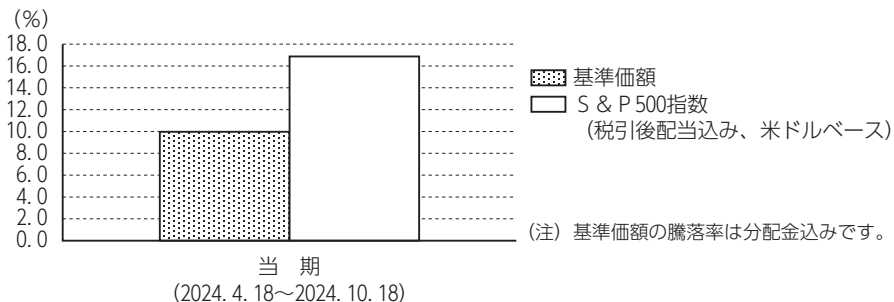
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、公益事業や資本財・サービスの比率を引き上げた一方で、割高感が強まった情報技術やこれまでの利上げによる恩恵が薄れていくと予想される金融の比率を引き下げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年4月19日 ～2024年10月18日	
当期分配金（税込み）	(円)	850
対基準価額比率	(%)	6.66
当期の収益	(円)	61
当期の収益以外	(円)	788
翌期繰越分配対象額	(円)	2,132

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	61.45円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		1,028.90
(d) 分配準備積立金	✓	1,891.80
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		2,982.16
(f) 分配金		850.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		2,132.16

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

米国経済のソフトランディングやインフレ圧力緩和による利下げ開始は、米国中型株式市場にとってプラスとみています。その一方で、住宅着工件数の鈍化や低所得者層の消費に弱さが見られることから、景気減速の兆候がさらに強まれば、市場の変動性が高まる可能性があるかとみています。当戦略はこうしたリスクを意識したポジショニングを維持し、バリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しており、慎重なアプローチが求められる局面では、当戦略の投資手法の有効性が高まると考えます。今後も持続可能な成長力と強力な競争優位性を持ち、負債水準が低くバランスシートが強固で、潤沢なフリー・キャッシュ・フローと健全な収益見通しを持つ企業の発掘に重点を置き、安定したリスク調整後リターンの獲得をめざす方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 4. 19～2024. 10. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	109円	0. 899%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12, 096円です。
(投 信 会 社)	(57)	(0. 469)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(50)	(0. 414)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0. 006	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0. 005)	
(投 資 証 券)	(0)	(0. 000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
(投 資 証 券)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	3	0. 026	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0. 005)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	113	0. 931	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

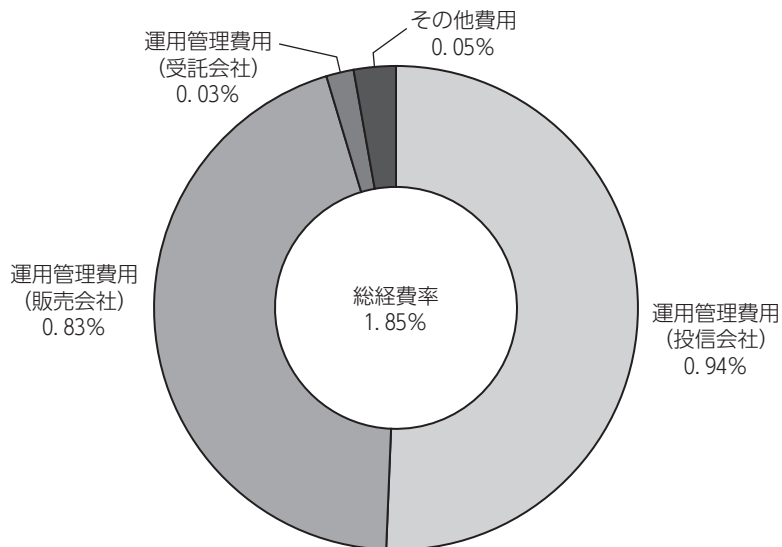
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2024年4月19日から2024年10月18日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	31,369	86,500	67,288	191,800

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2024年4月19日から2024年10月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,784,423千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,635,280千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.31

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	185,741	149,822	448,554

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	448,554	91.5
コール・ローン等、その他	41,493	8.5
投資信託財産総額	490,048	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝150.13円です。

（注3）ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（5,822,233千円）の投資信託財産総額（6,228,284千円）に対する比率は、93.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	919,456,401円
コール・ローン等	13,493,836
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド（評価額）	448,554,310
未収入金	457,408,255
(B) 負債	477,304,898
未払金	441,411,578
未払収益分配金	31,556,932
未払解約金	254
未払信託報酬	4,322,968
その他未払費用	13,166
(C) 純資産総額（A－B）	442,151,503
元本	371,258,034
次期繰越損益金	70,893,469
(D) 受益権総口数	371,258,034口
1万口当り基準価額（C／D）	11,910円

* 期首における元本額は443,296,252円、当作成期間中における追加設定元本額は7,306,095円、同解約元本額は79,344,313円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,910円です。

■損益の状況

当期 自 2024年4月19日 至 2024年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,371円
受取利息	2,371
(B) 有価証券売買損益	46,687,432
売買益	97,491,493
売買損	△ 50,804,061
(C) 信託報酬等	△ 4,347,883
(D) 当期損益金 (A + B + C)	42,341,920
(E) 前期繰越損益金	25,179,683
(F) 追加信託差損益金	34,928,798
(配当等相当額)	(38,199,023)
(売買損益相当額)	(△ 3,270,225)
(G) 合計 (D + E + F)	102,450,401
(H) 収益分配金	△ 31,556,932
次期繰越損益金 (G + H)	70,893,469
追加信託差損益金	34,928,798
(配当等相当額)	(38,199,023)
(売買損益相当額)	(△ 3,270,225)
分配準備積立金	40,959,461
繰越損益金	△ 4,994,790

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：1,201,930円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,281,563円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	38,199,023
(d) 分配準備積立金	70,234,830
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	110,715,416
(f) 分配金	31,556,932
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	79,158,484
(h) 受益権総口数	371,258,034口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	850円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
10期末(2022年10月18日)	13,914	150	0.5	20,134	△ 1.0	94.1	—	1.7	5,509
11期末(2023年4月18日)	14,372	0	3.3	20,653	2.6	94.4	—	1.9	5,272
12期末(2023年10月18日)	15,118	700	10.1	24,380	18.0	94.1	—	1.6	5,222
13期末(2024年4月18日)	15,885	1,500	15.0	29,014	19.0	91.9	—	1.3	5,260
14期末(2024年10月18日)	16,492	900	9.5	32,959	13.6	93.6	—	1.7	5,445

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（税引後配当込み、円換算）は、S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

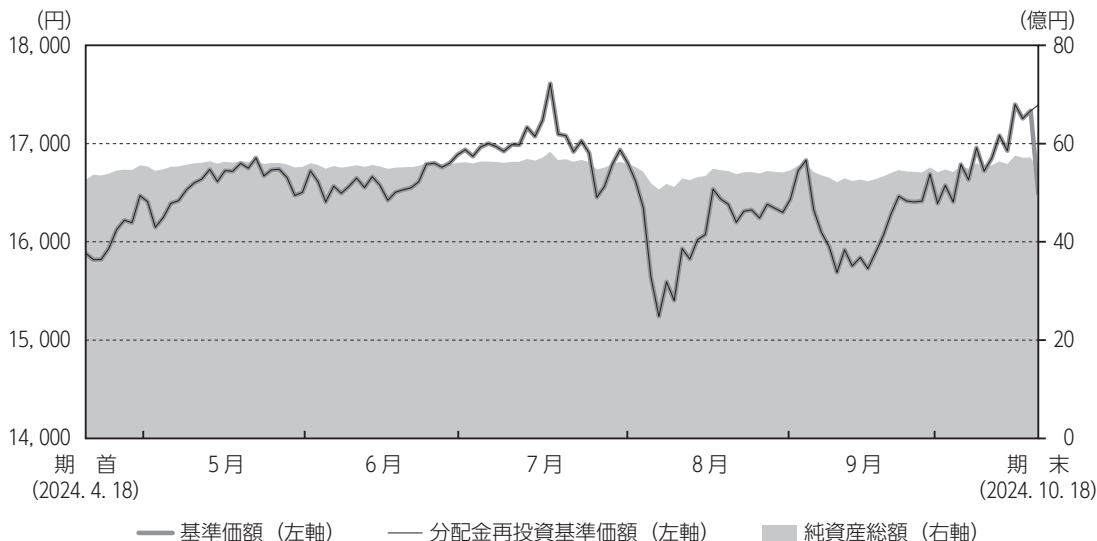
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：15,885円

期末：16,492円（分配金900円）

騰落率：9.5%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となった一方で、米国中型株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2024年 4月18日	15,885	—	29,014	—	91.9	—	1.3
4月末	16,471	3.7	30,028	3.5	93.7	—	1.4
5月末	16,504	3.9	30,728	5.9	93.1	—	1.4
6月末	16,887	6.3	33,095	14.1	94.5	—	1.5
7月末	16,805	5.8	31,076	7.1	94.0	—	1.7
8月末	16,436	3.5	30,391	4.7	93.6	—	1.7
9月末	16,391	3.2	30,766	6.0	93.4	—	1.8
(期末)2024年10月18日	17,392	9.5	32,959	13.6	93.6	—	1.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 4. 19 ～ 2024. 10. 18）

■米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、当作成期首より、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が高まったことなどから、底堅く推移しました。しかし2024年7月中旬以降は、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆するF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感し、株価は急反発しました。9月中旬にF R Bが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、米国中型株式市場は上昇して当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日銀が緩和的な金融政策を維持する見通しなどから、円安基調となりました。しかし2024年7月以降は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから円高米ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、大幅な円高となりました。9月は、米国金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総裁選挙の結果などから、円高基調が継続しました。当作成期末にかけては、米国の過度な景気減速懸念が後退したことなどから、米ドル円は上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

健全な労働市場や底堅い個人消費などを背景に、米国経済が堅調さを維持していることや、インフレ圧力の緩和に伴い、利下げの可能性が高まっていることは、米国中型株式市場にとってプラス材料であるとみています。一方で、最近の株高は、力強い経済成長やインフレ圧力の後退、金利の低下など株式市場にとって好ましいシナリオが続くことへの期待感に支えられていることから、インフレ率上昇など想定外のイベントが発生した場合には市場に失望感が広がり、株価の下落幅が大

きくなるリスクがあると考えます。

このような理由から、当戦略は引き続き、こうしたリスクを意識したポジションを維持し、バリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しています。銘柄選択にあたっては、良好なバランスシート、持続性のある競争力、安定した収益見通しが期待できる銘柄の発掘に注力していくとともに、まだ市場で十分に認知されていない、長期的な成長テーマに注目しています。例えば、当戦略では最近、電力会社の組入比率を引き上げました。AI（人工知能）や電気自動車の普及により電力需要が増加していることに加え、送電網の信頼性向上やクリーン・エネルギーへの転換のための電力インフラ（社会基盤）投資が加速していくと予想しています。

ポートフォリオについて

（2024. 4. 19～2024. 10. 18）

当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

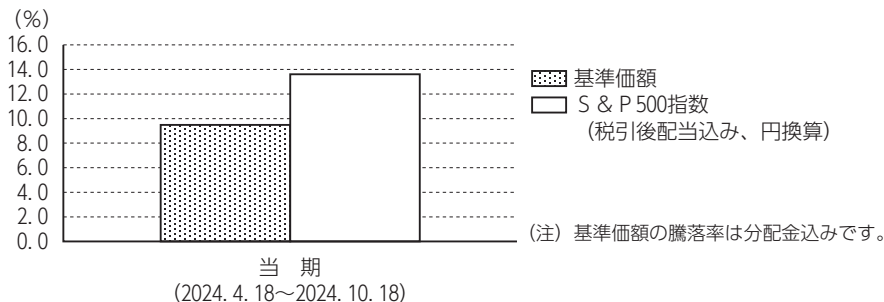
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、公益事業や資本財・サービスの比率を引き上げた一方で、割高感が強まった情報技術やこれまでの利上げによる恩恵が薄れていくと予想される金融の比率を引き下げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年4月19日 ～2024年10月18日	
当期分配金（税込み）	(円)	900
対基準価額比率	(%)	5.17
当期の収益	(円)	900
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	6,491

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	84.89円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	1,405.67
(c) 収益調整金		1,084.93
(d) 分配準備積立金		4,816.29
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		7,391.80
(f) 分配金		900.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		6,491.80

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

米国経済のソフトランディングやインフレ圧力緩和による利下げ開始は、米国中型株式市場にとってプラスとみています。その一方で、住宅着工件数の鈍化や低所得者層の消費に弱さが見られることから、景気減速の兆候がさらに強まれば、市場の変動性が高まる可能性があるかとみています。当戦略はこうしたリスクを意識したポジショニングを維持し、バリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しており、慎重なアプローチが求められる局面では、当戦略の投資手法の有効性が高まると考えます。今後も持続可能な成長力と強力な競争優位性を持ち、負債水準が低くバランスシートが強固で、潤沢なフリー・キャッシュ・フローと健全な収益見通しを持つ企業の発掘に重点を置き、安定したリスク調整後リターンを獲得をめざす方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 4. 19～2024. 10. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	149円	0.899%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16,525円です。
（投 信 会 社）	(77)	(0.469)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(68)	(0.414)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(3)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.005	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(1)	(0.005)	
（投 資 証 券）	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.000)	
（投 資 証 券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	4	0.024	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(3)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	153	0.929	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

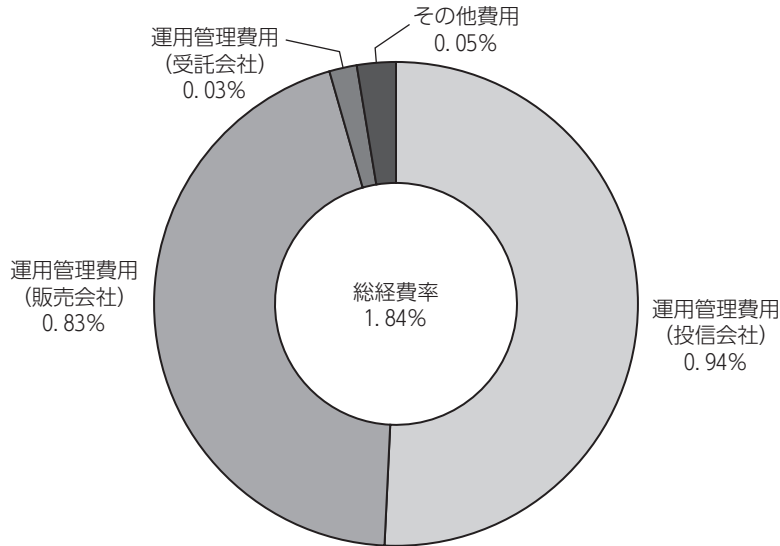
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2024年4月19日から2024年10月18日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	106,714	291,900	189,891	550,900

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2024年4月19日から2024年10月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,784,423千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,635,280千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.31

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	1,899,949	1,816,771	5,439,233	

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	5,439,233	93.7
コール・ローン等、その他	368,316	6.3
投資信託財産総額	5,807,549	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝150.13円です。

（注3）ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（5,822,233千円）の投資信託財産総額（6,228,284千円）に対する比率は、93.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,807,549,533円
コール・ローン等	63,316,001
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド（評価額）	5,439,233,532
未収入金	305,000,000
(B) 負債	362,146,617
未払収益分配金	297,169,556
未払解約金	15,389,717
未払信託報酬	49,435,786
その他未払費用	151,558
(C) 純資産総額 (A - B)	5,445,402,916
元本	3,301,883,960
次期繰越損益金	2,143,518,956
(D) 受益権総口数	3,301,883,960口
1万口当り基準価額 (C / D)	16,492円

* 期首における元本額は3,311,785,248円、当作成期間中における追加設定元本額は139,428,769円、同解約元本額は149,330,057円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,492円です。

■損益の状況

当期 自 2024年 4月19日 至 2024年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	21, 199円
受取利息	21, 199
(B) 有価証券売買損益	541, 735, 816
売買益	552, 537, 635
売買損	△ 10, 801, 819
(C) 信託報酬等	△ 49, 587, 344
(D) 当期損益金 (A + B + C)	492, 169, 671
(E) 前期繰越損益金	1, 590, 284, 509
(F) 追加信託差損益金	358, 234, 332
(配当等相当額)	(352, 867, 374)
(売買損益相当額)	(5, 366, 958)
(G) 合計 (D + E + F)	2, 440, 688, 512
(H) 収益分配金	△ 297, 169, 556
次期繰越損益金 (G + H)	2, 143, 518, 956
追加信託差損益金	358, 234, 332
(配当等相当額)	(352, 867, 374)
(売買損益相当額)	(5, 366, 958)
分配準備積立金	1, 785, 284, 624

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：13,748,222円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	28, 032, 649円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	464, 137, 022
(c) 収益調整金	358, 234, 332
(d) 分配準備積立金	1, 590, 284, 509
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2, 440, 688, 512
(f) 分配金	297, 169, 556
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2, 143, 518, 956
(h) 受益権総口数	3, 301, 883, 960口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	900円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて
<ul style="list-style-type: none"> ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

運用報告書 第14期（決算日 2024年10月18日）

（作成対象期間 2024年4月19日～2024年10月18日）

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

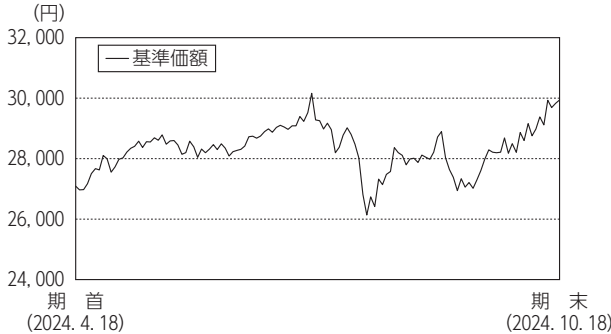
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）および不動産投資信託証券
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：27,086円 期末：29,939円 騰落率：10.5%

【基準価額の主な変動要因】

米ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となった一方で、米国中型株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、当作成期首より、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が高まったことなどから、底堅く推移しました。しかし2024年7月中旬以降は、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆するFRB（米連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感し、株価は急反発しました。9月中旬にFRBが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、米国中型株式市場は上昇して当作成期末を迎えました。

○ 為替相場

米ドル為替相場は対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日銀が緩和的な金融政策を維持する見通しなどから、円安基調となりました。しかし2024年7月以降は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから円高米ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、大幅な円高となりました。9月は、米国の金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総裁選挙の結果などから、円高基調が継続しました。当作成期末にかけては、米国の過度な景気減速懸念が後退したことなどから、米ドル円は上昇しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インバスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

健全な労働市場や底堅い個人消費などを背景に、米国経済が堅調さを維持していることや、インフレ圧力の緩和に伴い、利下げの可能性が高まっていることは、米国中型株式市場にとってプラス材料であるとみています。一方で、最近の株高は、力強い経済成長やインフレ圧力の後退、金利の低下など株式市場にとって好ましいシナリオが続くことへの期待感に支えられていることから、インフレ率上昇など想定外のイベントが発生した場合には市場に失望感が広がり、株価の下落幅が大きくなるリスクがあると考えます。

このような理由から、当戦略は引き続き、こうしたリスクを意識したポジションを維持し、パリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しています。銘柄選択にあたっては、良好なバランスシート、持続性のある競争力、安定した収益見通しが期待できる銘柄の発掘に注力していくとともに、まだ市場で十分に認知されていない、長期的な成長テーマに注目しています。例えば、当戦略では最近、電力会社の組入比率を引き上げました。AI（人工知能）や電気自動車の普及により電力需要が増加していることに加え、送電網の信頼性向上やクリーン・エネルギーへの転換のための電力インフラ（社会基盤）投資が加速していくと予想しています。

年 月 日	基準価額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式	株 式	投資証券
	円	%	(参考指数)	騰落率	組入比率	先物比率	組入比率
(期首) 2024年 4月18日	27,086	—	29,014	—	94.0	—	1.3
4月末	28,102	3.8	30,028	3.5	93.8	—	1.4
5月末	28,200	4.1	30,728	5.9	93.1	—	1.4
6月末	28,894	6.7	33,095	14.1	94.4	—	1.5
7月末	28,801	6.3	31,076	7.1	93.9	—	1.7
8月末	28,213	4.2	30,391	4.7	93.7	—	1.7
9月末	28,178	4.0	30,766	6.0	93.3	—	1.8
(期末) 2024年10月18日	29,939	10.5	32,959	13.6	93.7	—	1.7

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、公益事業や資本財・サービスの比率を引き上げた一方で、割高感が強まった情報技術やこれまでの利上げによる恩恵が薄れていくと予想される金融の比率を引き下げました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

米国経済のソフトランディングやインフレ圧力緩和による利下げ開始は、米国中型株式市場にとってプラスとみています。その一方で、住宅着工件数の鈍化や低所得者層の消費に弱さが見られることから、景気減速の兆候がさらに強まれば、市場の変動性が高まる可能性があるかとみています。当戦略はこうしたリスクを意識したポジショニングを維持し、バリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しており、慎重なアプローチが求められる局面では、当戦略の投資手法の有効性が高まると考えます。今後も持続可能な成長力と強力な競争優位性を持ち、負債水準が低くバランスシートが強固で、潤沢なフリー・キャッシュ・フローと健全な収益見通しを持つ企業の発掘に重点を置き、安定したリスク調整後リターンを獲得をめざす方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資証券)	2円 (2) (0)
有価証券取引税 (株式) (投資証券)	0 (0) (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	6 (5) (1)
合 計	8

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1)株 式

(2024年4月19日から2024年10月18日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	アメリカ	百株 601.99 (146)	千アメリカ・ドル 4,648 (△ 2)	百株 742.36	千アメリカ・ドル 7,039

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資証券

(2024年4月19日から2024年10月18日まで)

銘 柄	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
アメリカ				
LAMAR ADVERTISING CO-A	0.319	37	1.216	161
LINEAGE INC	2.556	198	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2024年4月19日から2024年10月18日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
CDW CORP/DE (アメリカ)	2.091	65,596	31,370	MICROCHIP TECHNOLOGY INC (アメリカ)	8.715	125,884	14,444
APPLOVIN CORP CLASS A (アメリカ)	3.157	39,854	12,624	WBABTEC CORP (アメリカ)	4.09	103,535	25,314
FORTIVE CORP (アメリカ)	3.088	35,205	11,400	NICE LTD - SPON ADR (イスラエル)	2.834	87,394	30,837
TELEFLEX INC (アメリカ)	1.025	34,679	33,833	GODADDY INC - CLASS A (アメリカ)	3.18	72,454	22,784
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS (アメリカ)	2.606	27,166	10,424	CATALENT INC (アメリカ)	7.786	68,763	8,831
API GROUP CORP (アメリカ)	4.324	23,947	5,538	BOSTON SCIENTIFIC CORP (アメリカ)	5.363	64,760	12,075
REVVITY INC (アメリカ)	1.324	21,621	16,330	FLEX LTD (シンガポール)	8.542	44,542	5,214
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC (アメリカ)	0.745	19,334	25,951	LAM RESEARCH CORP (アメリカ)	0.261	37,148	142,330
DTE ENERGY COMPANY (アメリカ)	1.068	19,126	17,909	L3HARRIS TECHNOLOGIES INC (アメリカ)	1.039	35,049	33,733
GODADDY INC - CLASS A (アメリカ)	0.845	17,061	20,191	FIDELITY NATIONAL INFO SERV (アメリカ)	2.71	33,383	12,318

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘 柄	期 首	当 期	期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIO	37.93	38.18	833	125,100	資本財・サービス
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	43.2	19.22	172	25,946	金融
WR BERKLEY CORP	136.63	206.35	1,259	189,097	金融
DOLLAR TREE INC	19.68	25.28	171	25,754	生活必需品
DENTSPLY SIRONA INC	92.44	93.12	227	34,097	ヘルスケア
ALLIANT ENERGY CORP	146.87	147.87	916	137,593	公益事業
FORTIVE CORP	62.64	87.85	678	101,910	資本財・サービス
TE CONNECTIVITY LTD	17.68	—	—	—	情報技術
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS	165.71	180.14	1,375	206,565	資本財・サービス
ARAMARK	169.15	181.16	706	106,124	一般消費財・サービス
DTE ENERGY COMPANY	28.42	36.72	471	70,806	公益事業
CBOE GLOBAL MARKETS INC	11.49	11.57	242	36,398	金融
GLOBAL PAYMENTS INC	23.97	32.79	333	50,025	金融
BURLINGTON STORES INC	14.38	11.42	298	44,748	一般消費財・サービス
TELEFLEX INC	45.2	52.11	1,220	183,174	ヘルスケア
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	43.08	47.46	823	123,607	資本財・サービス
CATALENT INC	74.32	—	—	—	ヘルスケア
CLEAN HARBORS INC	16.21	16.32	419	62,950	資本財・サービス
WEX INC	56.23	60.24	1,286	193,131	金融
CDW CORP/DE	—	19.7	435	65,415	情報技術
LPL FINANCIAL HOLDINGS INC	22.53	24.89	652	97,984	金融
AMDOCS LTD	89.72	90.35	821	123,353	情報技術
CIMPRESS PLC	50.58	50.93	403	60,580	資本財・サービス

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
ICU MEDICAL INC	25.45	25.64	462	69,484	ヘルスケア
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	29.67	21.38	530	79,692	資本財・サービス
NXP SEMICONDUCTORS NV	35.14	33.01	766	115,113	情報技術
ZIFF DAVIS INC	26.64	26.84	126	19,035	コミュニケーション・サービス
SAREPTA THERAPEUTICS INC	20.16	17.66	219	32,942	ヘルスケア
KLA CORP	4.83	4.54	304	45,683	情報技術
LAM RESEARCH CORP	2.61	—	—	—	情報技術
RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR	43.84	110.37	493	74,150	資本財・サービス
NICE LTD - SPON ADR	27.02	—	—	—	情報技術
RB GLOBAL INC	53.56	56.42	454	68,220	資本財・サービス
GILDAN ACTIVEWEAR INC	136.62	137.56	652	97,910	一般消費財・サービス
WAYFAIR INC- CLASS A	25.28	33.14	174	26,155	一般消費財・サービス
TRANSUNION	37.38	37.65	402	60,480	資本財・サービス
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	111.35	28.77	220	33,076	情報技術
ASCENDIS PHARMA A/S - ADR	19.62	19.77	250	37,593	ヘルスケア
GODADDY INC - CLASS A	117.71	94.36	1,551	232,921	情報技術
ARGENX SE - ADR	6.78	6.81	370	55,601	ヘルスケア
STERIS PLC	18.46	15.81	355	53,404	ヘルスケア
INGERSOLL-RAND INC	64.59	57.19	577	86,743	資本財・サービス
DAYFORCE INC	75.53	79.25	506	76,015	資本財・サービス
CORTEVA INC	82.82	93.59	551	82,828	素材
REVVITY INC	71.73	79.81	950	142,644	ヘルスケア
AVANTOR INC	201.59	233.92	579	86,988	ヘルスケア
DYNATRACE INC	46.39	46.72	252	37,875	情報技術
DOORDASH INC - A	17.12	24.21	366	55,028	一般消費財・サービス
VAXCYTE INC	31.44	32.81	379	56,946	ヘルスケア
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	196.25	197.58	713	107,171	資本財・サービス
ON SEMICONDUCTOR CORP	108.19	108.93	754	113,232	情報技術
AMEREN CORPORATION	63.99	64.45	569	85,447	公益事業
APPLOVIN CORP CLASS A	—	29.65	423	63,654	情報技術
WABTEC CORP	64.16	26.5	503	75,586	資本財・サービス
WATERS CORP	11.72	12.4	430	64,655	ヘルスケア
FERGUSON PLC	40.26	—	—	—	資本財・サービス
RENTOKIL INITIAL ADS EACH REPRESENTS	128.45	135.35	332	49,906	資本財・サービス
TFI INTERNATIONAL INC	33.59	33.82	467	70,139	資本財・サービス
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	18.77	19.46	873	131,097	情報技術
LIBERTY MEDIA FORMULA ONE CORP SER	99.82	100.5	802	120,432	コミュニケーション・サービス
LIBERTY MEDIA FORMULA ONE CORP SER	9.72	12.81	95	14,281	コミュニケーション・サービス
VERALTO CORP	39.55	36.43	411	61,818	資本財・サービス
API GROUP CORP	61.37	98.26	334	50,170	資本財・サービス
COOPER INC	43.56	32.86	350	52,677	ヘルスケア
UL SOLUTIONS INC CLASS A	15.77	18.77	100	15,154	資本財・サービス
SCHWAB (CHARLES) CORP	26.15	—	—	—	金融
FERGUSON ENTERPRISES LTD	—	40.52	831	124,767	資本財・サービス
TE CONNECTIVITY LTD	—	16.58	245	36,807	情報技術
STANDARDAERO	—	41.73	136	20,480	資本財・サービス
FLEX LTD	359.47	296.45	1,034	155,326	情報技術

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
ILLUMINA INC	12.77	19.75	283	ヘルスケア		
CARMAX INC	74.52	75.03	563	一般消費財・サービス		
BOSTON SCIENTIFIC CORP	195.9	142.27	1,229	ヘルスケア		
ファンド合計	株数、金額	4,305.37	4,311	36,737	5,515,468	
	銘柄数<比率>	68銘柄	67銘柄		<93.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資証券

銘柄	□ 数	当 期 末		業 種 等		
		□ 数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円		
LAMAR ADVERTISING CO-A	4.416	3.519	478	71,828		
LINEAGE INC	—	2.556	195	29,328		
合 計	□ 数、金 額	4.416	6.075	673	101,157	
	銘柄数<比率>	1銘柄	2銘柄		<1.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	5,515,468	88.6
投資証券	101,157	1.6
コール・ローン等、その他	611,657	9.8
投資信託財産総額	6,228,284	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝150.13円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(5,822,233千円)の投資信託財産総額(6,228,284千円)に対する比率は、93.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,228,284,001円
コール・ローン等	604,522,473
株式(評価額)	5,515,468,803
投資証券(評価額)	101,157,342
未収入金	5,856,580
未収配当金	1,278,803
(B) 負債	340,405,673
未払金	7,405,673
未払解約金	333,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	5,887,878,328
元本	1,966,594,690
次期繰越損益金	3,921,283,638
(D) 受益権総口数	1,966,594,690口
1万口当り基準価額(C/D)	29,939円

* 期首における元本額は2,085,691,315円、当作成期間中における追加設定元本額は138,084,015円、同解約元本額は257,180,640円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ/ジャナス米国中型グロース株ファンド(為替ヘッジあり) 149,822,743円
 ダイワ/ジャナス米国中型グロース株ファンド(為替ヘッジなし) 1,816,771,947円
 * 当期末の計算口数当りの純資産額は29,939円です。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

■損益の状況

当期 自 2024年 4月19日 至 2024年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	33,561,211円
受取配当金	23,240,275
受取利息	5,392,950
その他収益金	4,927,986
(B) 有価証券売買損益	570,638,342
売買益	861,326,845
売買損	△ 290,688,503
(C) その他費用	△ 1,284,258
(D) 当期損益金 (A + B + C)	602,915,295
(E) 前期繰越損益金	3,563,571,718
(F) 解約差損益金	△ 485,519,360
(G) 追加信託差損益金	240,315,985
(H) 合計 (D + E + F + G)	3,921,283,638
次期繰越損益金 (H)	3,921,283,638

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、この使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドは、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。